

第3回 名古屋市立中学校における部活動のあり方懇談会

意見交換 説明資料

2023年10月24日（火） 14:00～16:00

目次

1. 「活動実施調査」の結果報告
2. 「生徒・保護者アンケート」の結果と分析
3. 「地域の指導者アンケート」の結果と分析
4. 中学校部活動の見直しの3つの方向性について



1 「活動実施調査」の 結果報告

1 「活動実施調査」の結果報告

活動実施調査の概要

調査業務の一環として、従来の部活動にとらわれない活動の実施を通じて、生徒のニーズを把握する

活動内容	中学生を対象とする複数のスポーツ・文化芸術等の活動（1回の活動時間は 3 時間以内）
時期	令和 5 年 8 月19日（土）・20日（日）・26日（土）・27日（日）
回数	16回 ※各区 1 回
会場	民間施設及び中学校体育館
対象	市内の中学校に在籍中の生徒
定員	20～40名 ※施設の利用環境により異なる
指導者	地域事業者・スポーツチーム又は地域指導者 ※各回2名以上を配置
募集	市内全中学校の生徒に対しチラシ配布によるPR
参加費	無償
参加者保険	傷害保険及び賠償責任保険へ加入 ※加入手続きは委託事業者が行う
申込	専用フォームから申込 ※応募者多数の場合は抽選

1 「活動実施調査」の結果報告

活動実施調査の概要

プログラム	実施区	開催日	時間	指導者・団体	場所	内容	定員	応募数	参加数
eスポーツ①	中村区	8/19 (土)	13:00-16:00	(株)NTT e-Sports	バンタンゲーム アカデミー 名古屋校	eスポーツ専用施設で人気ソフトを 体験。初めてeスポーツに触れる方 も楽しめるプログラム。	20	91	17
ブレイキン	南区	8/19 (土)	13:00-16:00	エイベックス・ マネジメント(株)	DANCE STUDIO STARGATE	パリ五輪から正式種目に採用された 「ブレイキン」体験。ダンス未経験 者も大歓迎のプログラム。	20	7	4
ヨガ①	中川区	8/19 (土)	9:00-12:00	(株)LAVA International	カワイオート ナカガワ スタジオ	運動が苦手でも無理なく行える、柔 軟・呼吸などを通して自己と向き合 うためのプログラム。	20	7	5
バレー ボール①	天白区	8/19 (土)	13:00-16:00	大同特殊鋼 バレーボール部 Red Star	天白中学校 体育館	現役選手・コーチによる指導。初心 者・経験者を対象にバレーボールを 楽しむためのプログラム。	40	79	33
ヨガ②	東区	8/20 (日)	12:30-15:30	(株)LAVA International	ダンススペース ViB	運動が苦手でも無理なく行える、柔 軟・呼吸などを通して自己と向き合 うためのプログラム。	20	6	4
eスポーツ②	千種区	8/20 (日)	12:00-15:00	(株)NTT e-Sports	esports cafe NeG	eスポーツ専用施設で人気ソフトを 体験。初めてeスポーツに触れる方 も楽しめるプログラム。	20	100	14
HIPHOP ダンス	緑区	8/20 (日)	13:00-16:00	エイベックス・ マネジメント(株)	LANA MÄLIE STUDIO	ダンス未経験者も大歓迎。かっこい いダンスを基本ステップなどを組み 合わせて完成させる。	20	36	17
ゴルフ	港区	8/20 (日)	9:00-12:00	中部エヌ・ ジー・エス(株)	ポートゴルフ エボック	ゴルフクラブの握り方やスイングの 基本などを中心に、初心者でも楽し めるプログラム。	30	17	13

1 「活動実施調査」の結果報告

活動実施調査の概要

プログラム	実施区	開催日	時間	指導者・団体	場所	内容	定員	応募数	参加数
バレーボール②	熱田区	8/26 (土)	13:00-16:00	大同特殊鋼 バレーボール部 Red Star	沢上中学校 体育館	現役選手・コーチによる指導。初心者・経験者を対象にバレーボールを楽しむためのプログラム。	40	64	30
バスケットボール①	西区	8/26 (土)	13:00-16:00	ファイティング イーグルス名古屋	名塚中学校 体育館	初心者から経験者までバスケットボールを楽しむためのプログラム。個人スキルのレベルアップもサポート。	40	46	26
卓球①	瑞穂区	8/26 (土)	13:00-16:00	トップおとめ ピンポンズ名古屋	萩山中学校 体育館	初心者・経験者が楽しみながらレベルアップを目指す。基本をしっかりと習得するためのプログラム。	40	22	14
ドローン①	守山区	8/26 (土)	13:00-16:00	(一社)ドローン 大学校	守山西中学校 体育館	初めてのドローン体験をサポート。操作体験だけでなく、安全性やルールもしっかり学べるプログラム。	20	60	14
バスケットボール②	名東区	8/27 (日)	13:00-16:00	ファイティング イーグルス名古屋	猪高中学校 体育館	初心者から経験者までバスケットボールを楽しむためのプログラム。個人スキルのレベルアップもサポート。	40	58	28
卓球②	北区	8/27 (日)	13:00-16:00	トップおとめ ピンポンズ名古屋	北陵中学校 体育館	初心者・経験者が楽しみながらレベルアップを目指す。基本をしっかりと習得するためのプログラム。	40	30	22
ドローン②	昭和区	8/27 (日)	13:00-16:00	(一社)ドローン 大学校	川名中学校 体育館	初めてのドローン体験をサポート。操作体験だけでなく、安全性やルールもしっかり学べるプログラム。	20	60	14
吹奏楽・音楽	中区	8/27 (日)	13:00-16:00	(株)ヤマハ ミュージック ジャパン	ヤマハ ミュージック スタジオ 名古屋店8階	木管楽器、金属楽器、打楽器を体験し合奏の完成を目指すプログラム。初心者も大歓迎。	20	60	17

1 「活動実施調査」の結果報告

※集計結果は、別紙「名古屋市スポーツ&文化体験プログラム」アンケート集計結果を参照

アンケート結果の概要と分析

「部活動又は地域クラブへの所属状況」と「参加種目」 (Q3.部活動又は地域クラブへの所属の有無(複数選択可)及びQ4.参加したプログラムを教えてくださいより)

	eスポーツ	プレイ キン	ヨガ	バレー ボール	HIPHOP ダンス	ゴルフ	バスケット ボール	卓球	ドローン	吹奏楽・ 音楽	計
学校の運動部に所属している	20 (7.2%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	43 (15.6%)	8 (2.9%)	3 (1.1%)	40 (14.5%)	26 (9.4%)	12 (4.3%)	0 (0.0%)	154 (55.7%)
学校の文化部に所属している	3 (1.1%)	1 (0.4%)	3 (1.1%)	2 (0.7%)	4 (1.4%)	5 (1.8%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	11 (4.0%)	9 (3.3%)	40 (14.4%)
いずれにも所属していない	6 (2.2%)	2 (0.7%)	4 (1.4%)	5 (1.8%)	3 (1.1%)	3 (1.1%)	7 (2.5%)	4 (1.4%)	3 (1.1%)	4 (1.4%)	41 (14.8%)
地域の運動クラブに所属している	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (2.9%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	4 (1.4%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	17 (6.1%)
地域の文化クラブに所属している	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
学校の運動部に所属している, 地域の運動クラブに所属している	1 (0.4%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	4 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (2.5%)	3 (1.1%)	2 (0.7%)	0 (0.0%)	18 (6.5%)
学校の運動部に所属している, 地域の文化クラブに所属している	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.3%)
学校の文化部に所属している, 地域の文化クラブに所属している	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	1 (0.4%)
学校の文化部に所属している, 地域の運動クラブに所属している	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (0.7%)	4 (0.14%)
種目別回答者数	31	4	9	63	17	13	58	36	28	17	276

[分析]

学校の部活動への所属状況及び地域クラブへの所属状況と、本事業への参加状況を分析した。

1. 学校の運動部に所属している生徒は、「バスケットボール」や「バレーボール」など同じ運動種目への参加が多い
2. 学校部活動に所属している生徒と比べ、地域クラブに所属している生徒による本事業への参加は少ない
3. 学校部活動及び地域クラブに所属していない生徒による、本事業への参加が一定数(41人)認められる

本プログラムのような従来の部活動と異なるスポーツ・文化活動への興味、ニーズの存在がうかがわれる。

1 「活動実施調査」の結果報告

※集計結果は、別紙「名古屋市スポーツ&文化体験プログラム」アンケート集計結果を参照

アンケート結果の概要と分析

参加プログラムごとの満足度 (Q4.参加したプログラムを教えてください及びQ5.参加プログラムの満足度を教えてください より)

	とても満足した	満足した	どちらともいえない	不満である	とても不満である	合計
eスポーツ	24 (77.4%)	7 (22.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31
ブレイキン	4 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4
ヨガ	7 (77.8%)	1 (11.1%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9
バレーボール	43 (68.3%)	18 (28.6%)	2 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	63
HIPHOPダンス	16 (94.1%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17
ゴルフ	6 (46.2%)	5 (38.5%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	13
バスケットボール	33 (56.9%)	23 (39.7%)	2 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	58
卓球	26 (72.2%)	9 (25.0%)	1 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	36
ドローン	17 (60.7%)	10 (35.7%)	1 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	28
吹奏楽・音楽	10 (58.8%)	6 (35.3%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	17

※プログラムの並びは、開催順。 ※割合の母数は、プログラムごとの回答総数。

【分析】

「Q5.参加プログラムの満足度を教えてください」の内訳を、プログラムごとに分析した結果（上記表を参照）。

1. すべてのプログラムにおいて、おおむね9割以上の生徒が「とても満足した」「満足した」と回答した
2. 「バレーボール」や「バスケットボール」といった従来の部活動にある種目、「eスポーツ」や「ドローン」といった従来の部活動にない種目においても、偏りなく満足度が高い結果が認められた
3. 「Q7.同じような機会があった場合、また参加したいと思いますか」の回答でも96%が「参加したい」と回答している

本プログラムのような従来の部活動と異なるスポーツ・文化活動への興味、ニーズの存在がうかがわれる。

1 「活動実施調査」の結果報告

※集計結果は、別紙「名古屋市スポーツ&文化体験プログラム」アンケート集計結果を参照

アンケート結果の概要と分析

今後、参加したいと思うプログラム（Q8.今後、参加したいと思うプログラムを教えてください(複数回答可)より）

1	バスケットボール	93 (35.3%)
1	eスポーツ	93 (35.3%)
3	バレーボール	78 (29.6%)
4	バドミントン	55 (20.9%)
4	卓球	55 (20.9%)
6	コンピュータ	51 (19.3%)
7	ダンス	49 (18.6%)
8	軽音楽（ギター、ドラム等）	42 (15.9%)
9	ピアノ等の楽器	38 (14.4%)
10	陸上	37 (14.0%)
11	茶道・華道	36 (13.6%)
12	スイミング	35 (13.3%)
13	ソフトテニス	34 (12.9%)
14	美術	29 (11.0%)
15	サッカー	27 (10.2%)
15	剣道	27 (10.2%)
17	演劇	25 (9.5%)
18	アーバンスポーツ（スケートボード、BMX）	24 (9.1%)
19	英会話	20 (7.6%)
19	硬式テニス	20 (7.6%)
19	書道	20 (7.6%)

※上位20位を抽出。

【分析】

「Q8.今後、参加したいと思うプログラムを教えてください(複数回答可)」の回答を、人気順に並べたもの（左記参照）。

1. 「eスポーツ」や「軽音楽」「アーバンスポーツ」など、従来の学校部活動にない種目、「ダンス」「コンピュータ」など学校部活動にはあるものの、部数が少ない種目への希望が多い。
2. 本事業でも実施した「バスケットボール」や「バレーボール」といった運動種目に対しては、人気度の高さや応募者の多さ（本資料p5-6参照）から、引き続き高いニーズが見込まれる。

本プログラムのような従来の部活動と異なるスポーツ・文化活動への興味、ニーズの存在がうかがわれる。

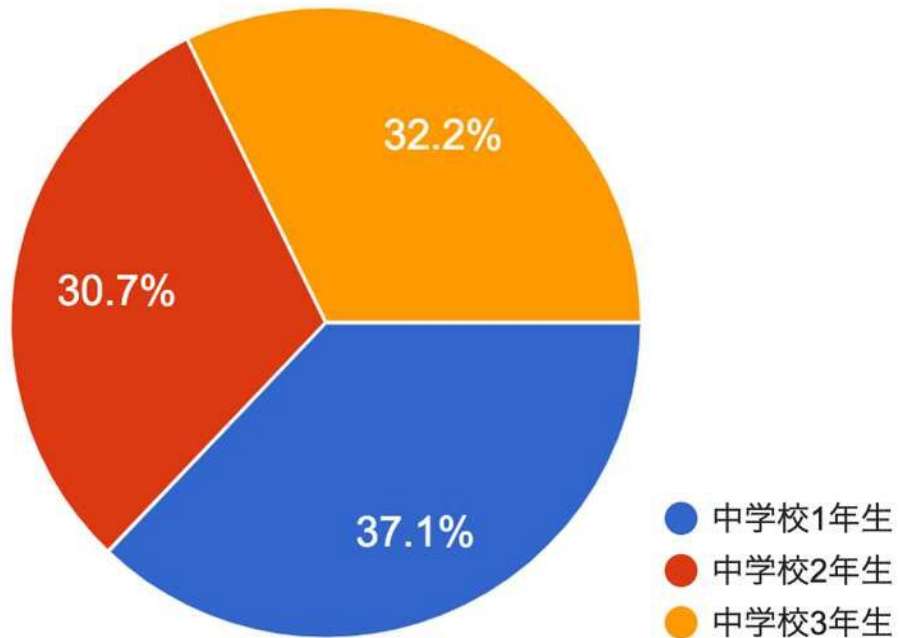
2 「生徒・保護者アンケート」の 結果と分析

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

基礎情報

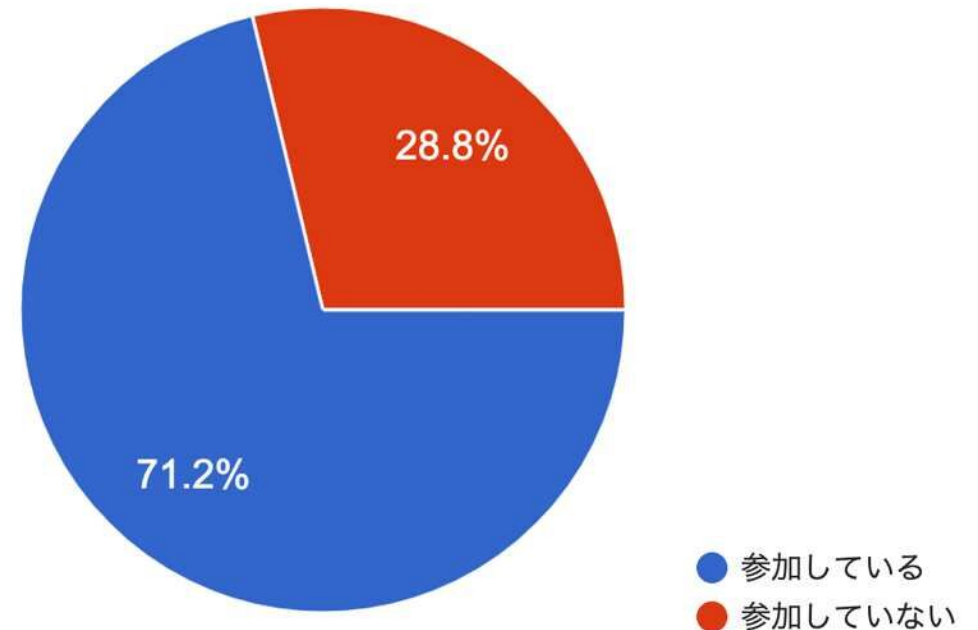
Q2.学年を教えてください



【結果】

中学校1年生	351 (37.1%)
中学校2年生	290 (30.7%)
中学校3年生	305 (32.2%)

Q3.現在、学校の部活動に参加していますか



【結果】

参加している	674 (71.2%)
参加していない	272 (28.2%)

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q5.部活動に参加している理由を教えてください（複数選択可）

【結果】

①その種目や活動を楽しみたいから	431（63.9%）
②仲の良い友達が入っているから	267（39.6%）
③その種目についてうまくなりたいから	262（38.9%）
④学校生活を充実したものにしたいから	234（34.7%）
⑤大会等で好成績を残したいから	147（21.8%）
⑥進路選択に役立てたいから	102（15.1%）

【分析】

学校の部活動に参加している生徒に対しその理由を聞いたところ、「大会等で好成績を残したいから」というような競技における勝敗を意識した回答と比較すると、「その種目や活動を楽しみたいから」や「その種目についてうまくなりたいから」、「仲の良い友達が入っているから」といった活動そのものを楽しむことを目的として部活動に参加しているとの回答がより多くみられた。



部活動に参加している生徒は、種目や活動を楽しむこと、仲の良い子と一緒に楽しむことに主眼を置いており、必ずしも「勝敗ありきの部活動」という形にこだわってはいないことが推察される。

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q7-1.「平日」の通常の練習日数（週当たり）を教えてください

【結果】	
1日	62 (9.2%)
2日	44 (6.6%)
3日	189 (28%)
4日	379 (56.2%)

Q9-1.「平日」の理想的な練習日数（週当たり）を教えてください

【結果】	
1日	43 (6.4%)
2日	107 (15.9%)
3日	323 (47.9%)
4日以上	201 (29.8%)

		「平日」の理想的な練習日数				回答数
練習日数 「平日」の通常の		1日	2日	3日	4日以上	
	1日	32 (51.6%)	20 (32.3%)	10 (16.1%)	0 (0.0%)	62
	2日	0 (0.0%)	27 (61.4%)	16 (36.4%)	1 (2.3%)	44
	3日	5 (2.6%)	39 (20.6%)	111 (58.7%)	34 (18.0%)	189
	4日	6 (1.6%)	21 (5.5%)	186 (49.1%)	166 (43.8%)	379

【分析】

通常の練習日数が4日である生徒のうち、理想的な練習日数を3日以下と回答している者が56.2%である一方、通常の練習日数が3日である生徒のうち、理想的な練習日数を2日以下と回答している者は23.2%に留まり、負担感の存在がうかがわれる生徒の割合が大きく低下している。また、理想的な練習日数として「3日」が約5割と回答されている。

一方、通常の練習日数が4日である生徒のうち、理想的な練習日数を4日以上と回答している者が43.8%であることから、平日においては練習日数を現状以上に確保したいという意向もうかがわれる。

平日の練習日数としては「3日」が生徒の理想的な日数の目安になり得る可能性があるが、一方で平日については、現状の部活動の活動日数に対するニーズも根強い。

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q7-2. 「休日」の通常の練習日数（週当たり）を教えてください

【結果】	
1日	435 (64.5%)
休日は練習しない	239 (35.5%)

Q9-2. 「休日」の理想的な練習日数（週当たり）を教えてください

【結果】	
1日以上	315 (46.7%)
休日は練習しない	359 (53.3%)

		「休日」の理想的な練習日数		
練習日数 「休日」の通常の		1日以上	休日は練習しない	回答総数
	1日	293 (67.4%)	142 (32.6%)	435
	休日は練習しない	22 (9.2%)	217 (90.8%)	239

【分析】

現状休日に練習していない生徒のうち休日に練習しないことが理想であると回答した生徒は9割を超えている一方、現状土日のどちらか1日練習している生徒のうち理想的な練習日数を1日以上と回答した生徒は約67%にとどまり、約33%は休日に練習をしないことを理想としている。また、全体でみると、休日は練習しないことを理想とする生徒が5割を超えている。

現状休日に練習をしていない生徒の大部分は休日に練習しないことを理想としており、ニーズの不一致はうかがわれない。現状休日1日練習している生徒の方が現状と理想とのギャップが大きく、負担感が生じている生徒が相当数いることがうかがわれる。

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q8-1.「平日」の通常の練習時間（1日当たり）を教えてください

【結果】	
～1時間	33 (4.9%)
～1時間30分	158 (23.4%)
～2時間	483 (71.7%)

Q10-1.「平日」の理想的な練習時間（1日当たり）を教えてください

【結果】	
～1時間	51 (7.6%)
～1時間30分	220 (32.6%)
～2時間	310 (46%)
2時間～	93 (13.8%)

		「平日」の理想的な練習時間				回答総数
練習時間 「平日」の 通常の		～1時間	～1時間30分	～2時間	2時間～	
	～1時間	18 (54.5%)	12 (36.4%)	3 (9.1%)	0 (0.0%)	33
	～1時間30分	18 (11.4%)	89 (56.3%)	42 (26.6%)	9 (5.7%)	158
	～2時間	15 (3.1%)	119 (24.6%)	265 (54.9%)	84 (17.4%)	483

【分析】

平日の理想的な練習時間については、1時間から2時間までの間と回答した生徒が約8割に上っている。また、通常の練習時間が「～2時間」である生徒のうち、理想的な練習時間を1時間30分以下と回答している者が27.7%である一方、通常の練習時間が「～1時間30分」である生徒のうち、理想的な練習時間を1時間以下と回答している者は11.4%に留まる。

平日の理想的な練習時間としては、ボリュームゾーンである「1時間～2時間」の中央値であること、負担感の存在がうかがわれる生徒の割合が1割程度まで低下することから、「1時間30分」が目安になり得る。

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q8-2.「休日」の通常の練習時間（1日当たり）を教えてください

【結果】	
～1時間	2 (0.3%)
～1時間30分	4 (0.6%)
～2時間	73 (10.8%)
～2時間30分	60 (8.9%)
～3時間	310 (46%)
休日は練習しない	225 (33.4%)

Q10-2.「休日」の理想的な練習時間（1日当たり）を教えてください

【結果】	
～1時間	10 (1.5%)
～1時間30分	37 (5.5%)
～2時間	100 (14.8%)
～2時間30分	70 (10.4%)
～3時間	133 (19.7%)
3時間～	71 (10.5%)
休日は練習しない	253 (37.5%)

		「休日」の理想的な練習時間							回答総数
練習時間 「休日」の 通常の		～1時間	～1時間30分	～2時間	～2時間30分	～3時間	3時間～	休日は練習しない	
	～1時間	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2
	～1時間30分	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	4
	～2時間	0 (0.0%)	18 (24.7%)	28 (38.4%)	8 (11.0%)	7 (9.6%)	1 (1.4%)	11 (15.1%)	73
	～2時間30分	1 (1.7%)	3 (5.0%)	21 (35.0%)	12 (20.0%)	16 (26.7%)	2 (3.3%)	5 (8.3%)	60
	～3時間	4 (1.3%)	7 (2.3%)	44 (14.2%)	49 (15.8%)	108 (34.8%)	67 (21.6%)	31 (10.0%)	310
	休日は練習しない	4 (1.8%)	6 (2.7%)	6 (2.7%)	1 (0.4%)	2 (0.9%)	1 (0.4%)	205 (91.1%)	225

【分析】

Q7-2×9-2の結果（P16参照）と同様、現状休日に練習していない生徒のうち、休日に練習しないことが理想であると回答した生徒は9割を超えている一方、休日の理想的な練習時間については、通常の練習時間が「～3時間」である生徒のうち、理想的な練習時間を2時間30分以下と回答している者が43.6%、「～2時間30分」である生徒のうち、理想的な練習時間を2時間以下と回答している者は50.0%となっている。

現状休日に練習をしていない生徒の大部分は休日に練習しないことを理想としており、ニーズの不一致はうかがわれない。それ以外の生徒については、現状と理想とのギャップが少なからず存在し、負担感が生じている生徒が相当数いることがうかがわれる。

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q11.部活動に参加していない理由を教えてください（複数選択可）

【結果】

①やりたい種目が学校部活動にないから	150 (55.1%)
②習い事など他にすることがあるから	102 (37.5%)
③練習時間が長い、又は練習日数が多いから	51 (18.8%)
④特に理由はない	46 (16.9%)
⑤入りたい部活動に友達がいらないから	14 (5.1%)
⑥もっと専門的な指導を受けたいから	7 (2.6%)

【分析】

部活動に参加していない理由として、「やりたい種目が学校部活動にない」が最も多く、参加したいが断念していると思われる生徒が5割を超えている。「習い事など他にやることがある」との回答も同様に多く、部活動に割く時間がない、ないし少ない生徒も相当数存在する。また、約2割の生徒が「練習時間が長い、又は練習日数が多いから」を選択している。

既存の部活動の種目だけでは生徒のニーズに対応できていないことがうかがわれる。また、生徒の多くが部活動以外の多様な活動に参加している現状も読み取れる。加えて、一定数の生徒が部活動における活動負荷が大きいことを理由に参加していない現状がある。

Q12.部活動以外のクラブ、教室等に参加していますか（学習塾を除く）

【結果】

参加している	303 (32%)
参加していない	643 (68%)

Q13.どのようなクラブ、教室等に参加していますか（複数選択可）

【結果】

①ピアノ等の楽器	72 (23.8%)
②書道	48 (15.8%)
③英会話	39 (12.9%)
④ダンス	31 (10.2%)
⑤スイミング	30 (9.9%)

【分析】

およそ3割の生徒が部活動以外の活動（習い事など）に参加していると回答。

その内訳をみると、本市の部活動において部数が少ない種目が選択上位にきている。また、「その他」の内訳をみると、多種多様な種目、内容が回答されている。

クラブ、教室等と部活動で求める活動レベルや頻度の差はあるものの、既存の部活動では満たされていないニーズが存在するものと考えられる。また、多種多様なクラブ、教室等に参加していることに鑑みると、生徒のニーズが多様であること、そのニーズを既存の部活動が満たしきれていないことがうかがわれる。

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q14.そのクラブ、教室等に参加している理由を教えてください (複数選択可)

【結果】

①その種目についてうまくなりたいから	198 (65.3%)
②その種目や活動を楽しみたいから	178 (58.7%)
③日常生活を充実したものにしたいから	86 (28.4%)
④大会等で好成績を残したいから	81 (26.7%)
⑤友人を増やし、交流したいから	48 (15.8%)

【分析】

「大会等で好成績を残したいから」というような競技における勝敗を意識した回答よりも、「その種目についてうまくなりたいから」や、「その種目や活動を楽しみたいから」といった、活動そのものを楽しむことを目的としてクラブ、教室等に参加しているとの回答が多くみられた。この点はQ 5 と近い傾向にあるが、相違点として、「その種目についてうまくなりたいから」の割合がQ 5 では38.9%であるのに対し、Q 1 4 では65.3%となっている。



クラブ、教室等に通う理由として、よりうまくなるために、部活動よりも高いレベルの指導を求める傾向がある。

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q17.平日に参加してみたい活動を教えてください（複数選択可）

【結果】

①部活動の練習	412（43.6%）
②平日の活動への参加を望んでいない（家族や友人と過ごしたい、ゆっくり休みたい等）	393（41.5%）
③部活動以外のクラブ・教室	178（18.8%）
④試合観戦、コンサート・演劇等の鑑賞	172（18.2%）
⑤スポーツや文化活動の体験会、イベントへの参加	107（11.3%）

【分析】

平日に望む活動としては部活動が最も多いが、平日は特に活動をせず、家でゆっくりすることを望む生徒がそれと匹敵する程度いるのが現状である。特に、部活動に参加している生徒のうち「平日の活動への参加を望んでいない」と回答した生徒は213人であり、「平日の活動への参加を望んでいない」と回答した生徒全体の約55%に上る。

本人の意思以外の理由により部活動に参加している生徒が相当数存在しており、部活動への参加に負担感が生じている生徒が相当数存在することがうかがわれる。

Q23.休日に参加してみたい活動を教えてください（複数選択可）

【結果】

①休日の活動への参加を望んでいない（家族や友人と過ごしたい、ゆっくり休みたい等）	475（50.2%）
②部活動の練習	286（30.2%）
③試合観戦、コンサート・演劇等の鑑賞	188（19.9%）
④部活動以外のクラブ・教室	166（17%）
⑤スポーツや文化活動の体験会、イベントへの参加	101（10.7%）

【分析】

「休日の活動への参加を望んでいない」と回答した生徒が5割を超えている一方、「部活動の練習」と回答した生徒は3割に留まる。平日における同趣旨の設問（Q17）では、最も回答が多かった「部活動の練習」が43.6%、「平日の活動への参加を望んでいない」が41.5%である。

休日においては活動への参加を望まず、家でゆっくりしたいとする傾向がより顕著であり、部活動への参加を望む生徒も平日よりも少ない。

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q21.【平日】部活動以外の活動として参加してみたい種目・ジャンルを教えてください（複数選択可）

【結果】	
①eスポーツ	79 (21.7%)
②バスケットボール	68 (18.7%)
②サッカー	68 (18.7%)
④軽音楽（ギター、ドラム等）	65(17.9%)
⑤バドミントン	58(15.9%)
⑤卓球	58(15.9%)
⑦ダンス	56(15.4%)
⑦バレーボール	56(15.4%)
⑨ピアノ等の楽器	53 (14.6%)
⑩美術	44(12.1%)

Q27.【休日】部活動以外の活動として参加してみたい種目・ジャンルを教えてください（複数選択可）

【結果】	
①eスポーツ	71 (20.4%)
①サッカー	71 (20.4%)
③バスケットボール	66 (19%)
④ピアノ等の楽器	61 (17.5%)
⑤軽音楽（ギター、ドラム等）	59 (17%)
⑥バレーボール	54 (15.5%)
⑦軟式野球	36 (10.3%)
⑧ダンス	43 (12.4%)
⑨演劇	42 (12.1%)
⑩美術	41 (11.8%)

【分析】

平日・休日ともに、参加したい「部活動以外の活動」における回答の上位3つには、「eスポーツ」「バスケットボール」「サッカー」が共通して含まれており、高い人気が見て取れる。また、「eスポーツ」や「軽音楽」「バドミントン」「ダンス」「演劇」「ピアノ」など、従来の部活動と異なる種目が上位に挙がっている。



従来の部活動にはない種目に対するニーズが存在し、生徒のニーズが多様であることがうかがわれるが、既存の部活動では生徒が望む種目をカバーしきれておらず、そのニーズに十分対応できていない。

2 「生徒アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q22.【平日】部活動・クラブ・教室の活動に求めるものを教えてください（複数選択可）

Q28.【休日】部活動・クラブ・教室の活動に求めるものを教えてください（複数選択可）

【結果】	
①競技・活動を楽しむこと	353 (72.5%)
②技術向上	273 (56.1%)
③友人・他の参加者との交流	248 (50.9%)
④大会等での好成績	176 (36.1%)
⑤中学校卒業後も参加できること	101 (20.7%)
⑥学校とは別の活動の場・居場所	77 (15.8%)
⑦指導者との交流	76 (15.6%)

【結果】	
①競技・活動を楽しむこと	278 (73.9%)
②技術向上	230 (61.2%)
③友人・他の参加者との交流	190 (50.5%)
④大会等での好成績	151 (40.2%)
⑤中学校卒業後も参加できること	90 (23.9%)
⑥指導者との交流	66 (17.6%)
⑦学校とは別の活動の場・居場所	65 (17.3%)

【分析】

平日、休日とも、部活動、クラブ・教室に求めるものは、「大会等での好成績」というような競技における勝敗を意識した回答よりも、「競技・活動を楽しむこと」「技術向上」「友人・他の参加者との交流」といった活動そのものを楽しむことができる環境を求める、との回答がより多くみられた。

Q5、Q14とも近い傾向にあることが推察されるが、特に、平日及び休日に「部活動の練習」に参加したいと回答した生徒のうち、「大会等での好成績」を選ばなかった生徒の割合はそれぞれ平日412人中260人（63.1%）、休日286人中163人（56.9%）であった。



平日・休日とも、競技における勝敗よりも活動そのものを楽しむことに意義を見出している生徒が多い。また、部活動はやりたいものの、部活動に対しては、競技における勝敗以外の点に意義を見出している生徒が過半数を占める。

2 「保護者アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q7.お子様の望ましい平日の過ごし方を教えてください（複数選択可）

【結果】		
①部活動やクラブ・教室等、継続的なスポーツ・文化活動への参加	998	(85.4%)
②塾や自主学習などの学習活動	812	(69.5%)
③家族や友人と過ごす、趣味の活動	631	(54%)
④イベント参加やコンサート鑑賞など多様な活動に参加	97	(8.3%)

Q8.お子様の望ましい休日の過ごし方を教えてください（複数選択可）

【結果】		
①家族や友人と過ごす、趣味の活動	1056	(90.3%)
②部活動やクラブ・教室等、継続的なスポーツ・文化活動への参加	607	(51.9%)
③イベント参加やコンサート鑑賞など多様な活動に参加	514	(44%)
④塾や自主学習などの学習活動	479	(41%)

【分析】

子の平日の望ましい過ごし方について、部活動やクラブ等への参加を望む保護者が9割弱に上っている。一方、子の休日の望ましい過ごし方については、「家族や友人と過ごす、趣味の活動」との回答が9割を超える。

また、平日と休日の望ましい過ごし方を比較すると、「部活動やクラブ・教室等、継続的なスポーツ・文化活動への参加」が平日は85.4%、休日は51.9%、「塾や自主学習などの学習活動」が平日は69.5%、休日は41%となっているが、「イベント参加やコンサート鑑賞など多様な活動に参加」してほしいと回答した保護者は、平日は8.3%に留まる一方、休日は44%となっている。

塾や自主学習などの学習活動等も含め、平日については自身の子に対し何らかの活動に参加することを望む保護者が多いことがうかがわれる。一方、休日においては、生徒アンケートQ17とQ23の結果比較と同様、保護者においても、子が何らかの活動へ参加することは望まず、子と家でゆっくりしたいとする傾向がより顕著である。また、休日においては、子に対し、部活動や塾といった日常の活動ではなく、イベント、コンサート等、多様な活動に参加し、多様な経験を積んでほしいという意向が見て取れる。

2 「保護者アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「子どものスポーツ・文化活動のあり方に関するアンケート調査」を参照

Q9.お子様が以下のA.B.Cの活動に参加する場合の参加料上限（週1回の活動に対する月額）を教えてください

A.レクリエーションやサークル活動のように競技・活動自体を楽しむもので、発表機会も交流戦や発表会など優勝を決めない形式で行うもの

B.競技・活動の技術向上を目指し、大会にも参加するもの（現状の大会に参加する部活動に近い）

C.クラブチームなど、専門性が高く、上位チームへのステップアップや高校の専科への進学等を目指すもの

【結果】A	
①無償：	479件（41%）
②1,000円：	251件（21.5%）
③3,000円：	153件（13.1%）
④2,000円：	118件（10.1%）
⑤5,000円：	86件（7.4%）
⑥4,000円：	35件（3.0%）
⑦6,000円：	15件（1.3%）
⑧8,000円：	11件（0.9%）
⑨10,000円以上：	9件（0.8%）
⑩7,000円：	8件（0.7%）
⑪9,000円：	4件（0.3%）

【結果】B	
①無償：	247件（21.1%）
②3,000円：	217件（18.6%）
③1,000円：	200件（17.1%）
④5,000円：	198件（16.9%）
⑤2,000円：	152件（13.0%）
⑥8,000円：	41件（3.5%）
⑦4,000円：	39件（3.3%）
⑧10,000円以上：	30件（2.6%）
⑨6,000円：	28件（2.4%）
⑩7,000円：	11件（0.9%）
⑪9,000円：	6件（0.5%）

【結果】C	
①5,000円：	321件（27.5%）
②10,000円以上：	182件（15.6%）
③3,000円：	138件（11.8%）
④無償：	122件（10.4%）
⑤8,000円：	104件（8.9%）
⑥1,000円：	76件（6.5%）
⑦2,000円：	65件（5.6%）
⑧7,000円：	49件（4.2%）
⑨6,000円：	45件（3.8%）
⑩4,000円：	38件（3.3%）
⑪9,000円：	29件（2.5%）

無償が約4割、無償から3,000円までを上限とすると回答した保護者が選択上位4つまでを占め、全体の約86%に上ることから、Aの形式での活動については3,000円が受益者負担額の許容上限の目安として考えることができる。

無償が約2割、無償から5,000円までを上限とすると回答した保護者が選択上位5つまでを占め、7位の4,000円を含めると、全体の9割に上ることから、Bの形式での活動については5,000円が受益者負担額の許容上限の目安として考えることができる。

無償は約1割にとどまり、5,000円が27.5%と最も回答として多いものの、10,000円以上と回答した保護者も15.6%に上るなど、専門性の高さや将来の進路に繋がり得るレベルの指導を享受できる場合、受益者負担額の許容上限はかなり高くなるものと推察される。

3 「地域の指導者アンケート」の結果と分析

3 「地域の指導者アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「外部人材の活用に関するアンケート調査」を参照

Q2.職業

【結果】

①アルバイト・パート	229 (22.3%)
②学生	171 (16.7%)
③自営業・フリーランス	151 (14.7%)
④スポーツや文化活動の指導者（専業）	118 (11.5%)
⑤会社員・団体等の職員	114 (11.1%)
⑥専業主夫・主婦	53 (5.2%)
⑦専業でスポーツや文化活動に従事している者 （スポーツ選手、演奏家等）	50 (4.9%)
⑧無職	47 (4.6%)
⑨教員	43 (4.2%)

【分析】

職業では、「アルバイト・パート」が最も多く23.3%。ついで「学生」16.7%、「自営業・フリーランス」14.7%が選択上位であり、稼働時間を比較的調整しやすいと思われる職業の比率が高い。

Q4.指導歴 及び Q5.中学生を対象とした活動（地域クラブ活動等、学校部活動以外の活動を含みます。）における指導希望の有無

【結果】

指導歴	指導希望の有無	希望する	希望しない
1年未満		148 (14.4%)	130 (12.7%)
1～3年未満		173 (16.8%)	133 (13.0%)
3～5年未満		57 (5.5%)	18 (1.8%)
5年以上		281 (27.4%)	86 (8.4%)
計		659 (64.2%)	367 (35.8%)

【分析】

Q5では、指導を「希望する」が64.2%、「希望しない」が35.8%となっている。その内訳を「Q4指導歴」ごとに整理すると、「1年未満」「1～3年未満」については、「希望する」「希望しない」のいずれも10%台半ばとなっており、大きな差はない一方、「5年以上」の指導者については、「希望する」が27.4%、「希望しない」が8.4%であり、指導経験の長い指導者の方が中学生の指導を希望する傾向にあることが見て取れる。

中学生に対する指導の方が、小学生に対する指導よりも高いレベルの指導が求められることから、その種目の指導により長く従事している指導者の方が中学生への指導に対するハードルが低いことに起因しているものと考えられる（Q16参照）。指導経験が浅い指導者が不安なく中学生へ指導できるような方策が必要であると思われる。

3 「地域の指導者アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「外部人材の活用に関するアンケート調査」を参照

Q7.指導可能種目を教えてください（複数選択可）

【結果】

①吹奏楽	131 (19.9%)
②合唱	129 (19.6%)
③バスケットボール	127 (19.3%)
④軟式野球	102 (15.5%)
⑤ソフトボール	85 (12.9%)
⑥サッカー	82 (12.4%)
⑦バレーボール	58 (8.8%)
⑧卓球	39 (5.9%)
⑨陸上	35 (5.3%)
⑩美術	18 (2.7%)
⑩ハンドボール	18 (2.7%)
⋮	
その他	118 (17.9%)

※割合の母数は、Q5で「指導を希望する」を選択した659名

【分析】

指導可能な種目には、従来の部活動に含まれるものが上位を占めているものの、「その他」として118の回答があり、種目数も約70種目、フラダンス、空手、軽音楽といった従来の部活動とは異なる種目も指導可能種目として回答されている。



部活動にはない種目、多種多様な種目の指導者が存在していることがわかる。

3 「地域の指導者アンケート」の結果と分析

※集計結果は、別紙「外部人材の活用に関するアンケート調査」を参照

Q15.指導するに当たって希望する立場について教えてください (複数選択可)

【結果】

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| ① どこかの団体・事業者に所属し、報酬を得て指導したい | 542 (82.2%) |
| ② ボランティアとして指導したい | 162 (24.6%) |
| ③ 自身が設立した団体に所属して指導したい | 137 (20.8%) |

※回答数の多い順に並べ替え ※割合の母数は、Q5で「指導を希望する」を選択した659名

【分析】

82.2%が「どこかの団体・事業者に所属し、報酬を得て指導したい」と回答している。



自身が団体を立ち上げる、ないしボランティアとして指導するよりも、組織化された団体から報酬を得ながら指導に当たりたいとの意向がある指導者が多いことが見て取れる。

Q16.希望しない理由を教えてください

【結果】

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ① 現在の仕事・指導で手一杯のため | 179 (48.7%) |
| ② 中学生を指導するには技能面に不安があるため | 104 (28.3%) |
| ③ 現状中学生を対象にした指導を行っていないため | 41 (11.1%) |

※回答数の多い順に並べ替え ※割合の母数は、Q5で「指導を希望しない」を選択した367名

【分析】

中学生の指導を希望しない理由として、約5割が「現在の仕事・指導で手一杯のため」と回答している一方、約3割が「中学生を指導するには技能面に不安があるため」と回答している。また、指導歴と当該回答との関係を見ると、「中学生を指導するには技能面に不安があるため」と回答をした指導者（104人）のうち、指導歴3年未満の指導者は93人（89.4%）となっている。



指導する時間はあるものの、指導歴が浅いことによる技能面の不安により生徒が指導を受ける機会が失われている現状がある。

4 中学校部活動の見直しの 3つの方向性について

4 中学校部活動の見直しの3つの方向性について

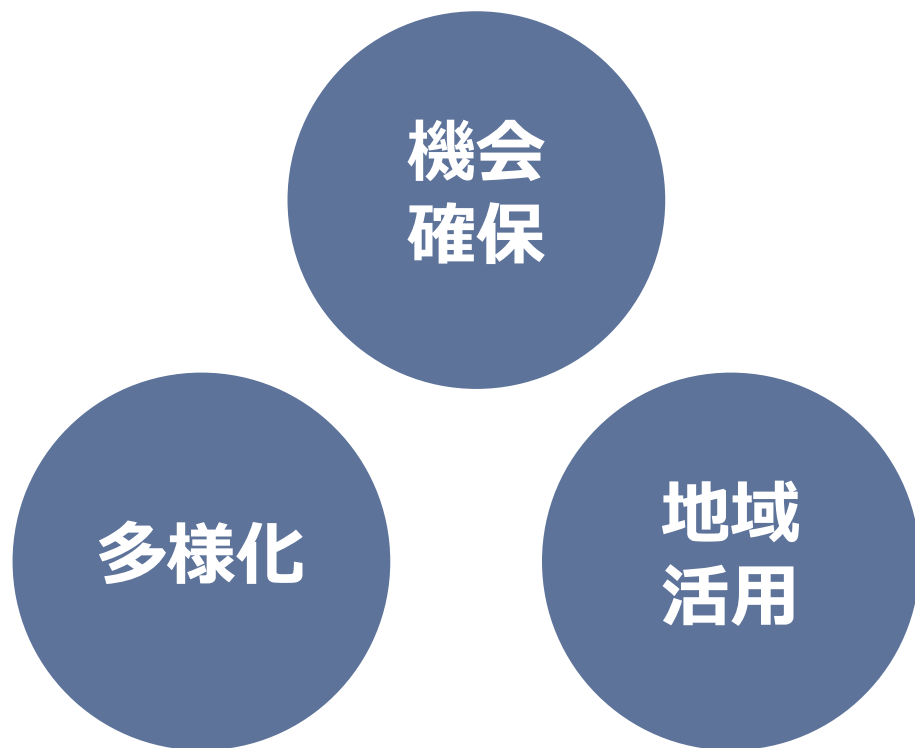
検証と考察の方針

中学校部活動の見直しの3つの観点

「機会確保」、「多様化」、「地域活用」の3つの観点から
本市における中学校部活動の見直しの方向性を検討

- ①第1回懇談会にて示した本市の現状に係る各種データ
- ②活動実施調査の結果
- ③生徒・保護者アンケートの結果
- ④地域の指導者アンケートの結果

を基に、検証・考察し、方向性を導く。



4 中学校部活動の見直しの3つの方向性について

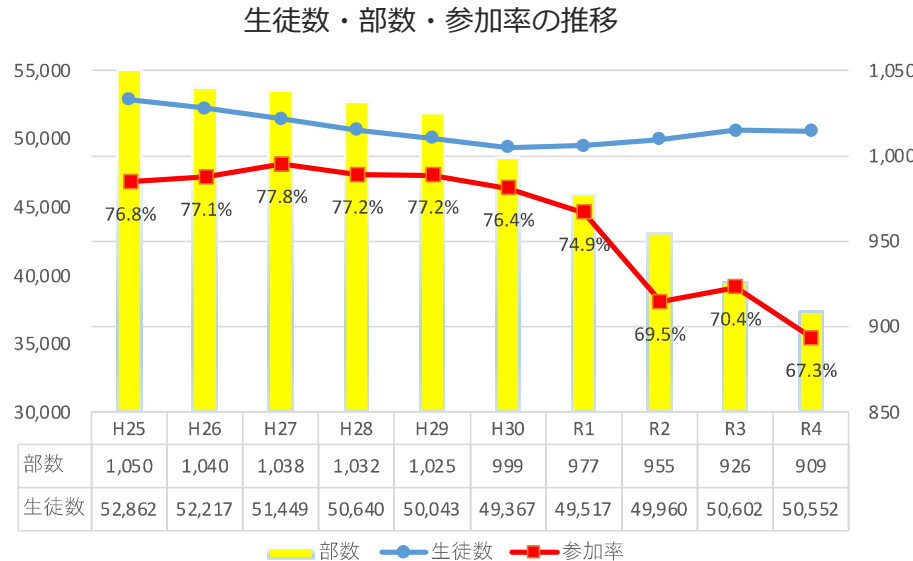
出典：第一回懇談会資料 P25, 26 より

①本市の現状に係る各種データからの検証と考察

【検証結果】

- ① 生徒数以上に部数が減少しており、従来の部活動のみでは活動機会の維持は困難（機会確保）
- ② 部数の減少とともに参加率も減少（多様化）
- ③ 部活動における地域人材の活用は2割（地域活用）

【考察】



部数・指導者数（令和4年度）

	部数	参加者数	参加率
運動部	642 部	24,218 人	47.9 %
文化部	267 部	9,783 人	19.4 %
全体	909 部	34,001 人	67.3 %

	教員指導者	指導率	外部人材
運動部	1,238 人	37.0 %	357 人
文化部	458 人	13.7 %	117 人
全体	1,696 人	50.7 %	474 人

※外部人材は、部活動外部顧問及び部活動外部指導者の合計
 ※参加率= 参加者数 ÷ 全生徒数（50,552人）
 ※指導率= 教員指導者 ÷ 教員数（3,344人）

- ① 平成25年度と令和4年度の生徒数と部数を比較すると、生徒数は4.4%の減、部数は約13.4%の減、となっており、**生徒数の減少割合を大きく上回る割合で部数が減少**している。また、令和に入ってから、生徒数は微増となっているものの、**部数は減少傾向のままであることから、従来の部活動のみで生徒の活動機会を確保することは困難である**といえる。
- ② 参加率と部数には相関関係があるものとみられることから、**部数の減少とともに参加率の減少**が生じている。
- ③ 運動部・文化部の教員指導者1,696人と外部人材（外部指導者・外部顧問）474人を合わせた全指導者2,170人に占める**外部人材の割合は、21.8%**であり、2割程度に留まっている。

4 中学校部活動の見直しの3つの方向性について

②活動実施調査の結果からの検証と考察

【検証結果】

従来の部活動とは異なる活動へのニーズも多い（多様化）

【考察】

活動実施調査の結果、従来の部活動とは異なる種目である「eスポーツ」「ドローン」については、定員を大きく超える申込みがあるとともに、今後参加したいと思うプログラムについても、「eスポーツ」「軽音楽」「アーバンスポーツ」など**従来の学校部活動にない種目**や「ダンス」「コンピュータ」など**部数の少ない種目への希望が多い**ことが判明した。

また、部活動及び地域クラブのいずれにも所属していない生徒の参加が約40名に上ったことから、**従来の学校部活動以外の活動への興味、ニーズがある**ことが裏付けられた。

4 中学校部活動の見直しの3つの方向性について

③生徒・保護者アンケートの結果からの検証と考察

【検証結果】

- ① 従来の部活動とは異なる活動へのニーズも多い（多様化）
- ② 部活動に参加している生徒は、勝敗よりも部活動自体を楽しむことに主眼を置いている（多様化）
- ③ 参加率の減少により適正な部員数の維持ができないこと、種目の充実度、習熟度（顧問）に課題があることから、従来の部活動のみでは活動機会の維持は困難（機会確保）
- ④ 現状の部活動の日数は平日、休日とも生徒の理想よりも多く、負担感が生じている（多様化）
- ⑤ 現状、部活動以外の多様な活動に参加している生徒も相当数存在する（多様化）
- ⑥ 生徒、保護者とも、休日は部活動よりも余暇や多様な活動への参加を重視している（多様化）

【考察】

- ① Q12及びQ13（生徒）の回答からは、部活動以外の活動の内訳として、本市の部活動において**部数が少ない種目が選択上位**にきており、クラブ、習い事等と部活動で求める活動レベルや頻度の差はあるものの、**既存の部活動では満たされていないニーズが存在**することがうかがわれる。また、「その他」において多種多様な種目、内容が回答されており、生徒のニーズが多様であることがうかがわれる。
Q21及びQ27（生徒）の回答からは、平日・休日ともに、参加したい「部活動以外の活動」における**選択上位に従来の部活動と異なる種目**が多く挙がっており、この点からも、このような種目に対するニーズの存在、ニーズの多様性、**既存の部活動では生徒が望む種目をカバーしきれていない**ことがうかがわれる。
- ② Q5（生徒）の回答からは、部活動に参加している生徒は、種目や活動を楽しむこと、仲の良い子と一緒に楽しむことに主眼を置いており、必ずしも「**勝敗ありきの部活動**」という形に**こだわってはいない**ことが推察される。
- ③ Q6（生徒）の回答からは、既存の部活動では**適正な部員数の維持や種目に対する顧問の習熟度に課題**があり、活動機会が十分に確保されていないと思われる生徒が一定数見受けられること、Q11の回答からは、**学校にやりたい種目がないがゆえに部活動に参加しないとする生徒が多くみられた**ことから、**従来の部活動のみでは生徒の活動機会を今後も維持することは困難で**

あると考えられる。

- ④ Q7～Q10（生徒）の回答からは、平日、休日とも、**生徒の通常の練習日数よりも理想的な練習日数が下回る結果**が示されており、現状と理想にギャップが存在し**部活動の練習に負担感を感じる生徒が多い**ことがうかがわれる。
- ⑤ Q11（生徒）の回答からは、**部活動以外の活動をしていることを理由に部活動に参加していない生徒がおよそ4割**いること、Q12（生徒）の回答からは、**部活動以外のクラブ、教室等に参加している生徒がおよそ3割**いることが示されており、**部活動以外の多様な活動に参加している生徒が相当数**いることがうかがわれる。
- ⑥ Q17及びQ23（生徒）の回答からは、**休日においては活動への参加を望まず、家でゆっくりしたいとする傾向が平日と比較してより顕著**であり、部活動への参加を望む生徒も平日よりも少ないことがうかがわれる。また、休日においては、部活動以外の活動を希望する生徒も相当数存在する。
Q7及びQ8（保護者）の回答からは、子の休日の望ましい過ごし方について、**家族や友人と過ごしたり、趣味の活動への参加を望む割合が9割を超えている**こと、平日と比較して休日においては、部活動や塾といった日常の活動ではなく、イベント、コンサート等、**多様な活動に参加し、多様な経験を積んでほしい**という意向が見て取れる。

4 中学校部活動の見直しの3つの方向性について

④地域の指導者アンケートの結果からの検証と考察

【検証結果】

- ① 指導歴の浅い指導者が技能面の不安により中学生に対する指導に消極的（地域活用）
- ② 部活動とは異なる種目、多種多様な種目の指導者が存在（地域活用）
- ③ 多くの指導者が団体に所属して報酬を得る活動形態を希望（地域活用）

【考察】

- ① Q4、Q5及びQ16の回答からは、指導経験の長い指導者の方が中学生の指導を希望する傾向にあること、指導する時間はあるものの、**指導歴が浅いことによる技能面の不安により生徒が指導を受ける機会が失われている**現状があることがうかがわれる。指導経験が浅い指導者が不安なく中学生へ指導できるような方策が必要であると思われる。
- ② Q7の回答からは、指導可能な種目のうち、「その他」として118の回答があり、フラダンス、空手、軽音楽といった**従来の部活動とは異なる種目を指導可能とする指導者が存在**すること、また、約70種目もの回答がなされていることから、部活動とは異なる種目、多種多様な種目の指導者が存在していることがうかがわれる。
- ③ Q15の回答からは、自身が団体を立ち上げる、ないしボランティアとして指導するよりも、**組織化された団体から報酬を得ながら指導に当たりたい**との意向がある指導者が多いことが見て取れる。

4 中学校部活動の見直しの3つの方向性について

対応の方向性について

区分	国の提言上の課題	本市の現状（検証結果）	対応の方向性
機会確保	少子化が進行する中、従来の部活動の維持は困難	・生徒数以上に部数が減少しており、従来の部活動のみでは活動機会の維持は困難 ・参加率の減少により適正な部員数の維持ができないこと、種目の充実度、習熟度（顧問）に課題があることから、従来の部活動のみでは活動機会の維持は困難	・行政や地域団体等の様々な主体による活動機会の確保 ・従来の部活動のあり方（学校単位の活動等）を前提としない活動も検討
多様化	部活動不参加の生徒の中に、従来の部活動以外の種目・活動内容へのニーズもある	・部数の減少とともに参加率も減少 ・従来の部活動とは異なる活動へのニーズも多い ・部活動に参加している生徒は、勝敗よりも部活動自体を楽しむことに主眼を置いている ・現状の部活動の日数は平日、休日とも生徒の理想よりも多く、負担感が生じている ・現状、部活動以外の多様な活動に参加している生徒も相当数存在する ・生徒、保護者とも、休日は部活動よりも余暇や多様な活動への参加を重視している	・学校外の指導者、活動団体の活用による多様化・多層化（ユニバーサルスポーツなどの導入）
地域活用	行政と地域の連携が不十分で、地域の活動機会や指導者が十分整備されていない	・部活動における地域人材の活用は2割 ・指導歴の浅い指導者が技能面の不安により中学生に対する指導に消極的 ・部活動とは異なる種目、多種多様な種目の指導者が存在 ・多くの指導者が団体に所属して報酬を得る活動形態を希望	・地域団体、指導者のノウハウの活用促進 ・個人の指導者の組織化